



一般社団法人 山梨県理学療法士会会報誌

Supporters

サポーターズ

NO.151
2018
春号

一般社団法人 山梨県理学療法士会ホームページ <http://ypta.jp/>

会員数 000名 施設数 000 (H30.2.1現在)

「supporters (サポーターズ)」とは…

我々理学療法士が社会に寄与していく職種であることを思い、「支える人」という意味の supporter に複数形のsを加え、supporters: 支える人たち (造語) の意味です。



※(写真は) 第2回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会

CONTENTS

《特集》

「第2回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会」

(第21回山梨県理学療法士会学術集会) …… 2~3

「第7回世界躰道選手権大会」 …… 4~5

各部活動報告 …… 6~9

●委託講習会部 ●新人教育研修部 ●医療・介護保険部
●地域連携部 ●スポーツ PT 部

お知らせ …… 11

●事務管理局

リレーエッセイ Part33 …… 12

原稿募集 …… 12

編集後記 …… 13

第2回山梨県リハビリテーション専門職 合同学術大会

(第21回山梨県理学療法士会学術集会)

テーマ：躍進～リハビリテーション未来の創生～ 日時：2017年12月2日(土)～12月3日(日) 場所：アピオ甲府

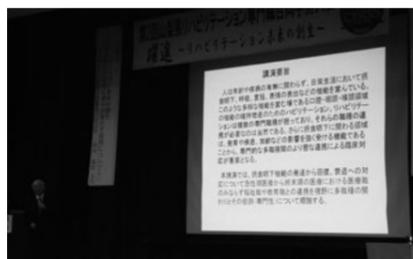
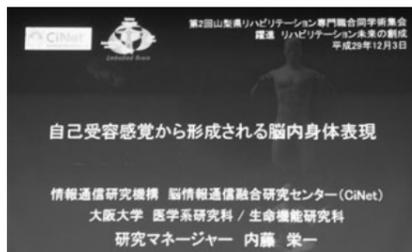
祝・成功！第2回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会

一般社団法人 山梨県理学療法士会 会長 小林 伸一

“躍進”～リハビリテーション未来の創生～をテーマに開催された大会が、大過なく成功裏に終える事ができました。中村専門職団体協議会長、内山大会長、赤池実行委員長はじめ実行委員の皆さんの奮闘に心より敬意を表します。

大会長講演・特別講演(2演題)・市民公開講座は最新の知見満載、教育講座(4演題)の「災害・訪問・地域支援」は協議会で、「認知症」は作業療法士会で取り組んでいる活動報告、一般演題(39演題)は日頃の実践をまとめた多種多様な報告等々、非常に多岐にわたる内容濃い大会でした。

大会を通して目的である「新たな学び」を得、そして施設・職種間を越えた「新たな相互交流」も生まれたことと思います。さて、三年後は当士会の担当です。成功を目指して奮闘しましょう。作業療法士会・言語聴覚士会の皆様のご協力を切にお願い申し上げます。



第2回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会を終えて

一般社団法人 山梨県理学療法士会 学術集会部 部長 菊池 信

去る平成29年12月2・3(土・日)に第2回目となる山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会がアピオ甲府で開催されました。

今回は市民公開講座を別日(H29.11.22)に設け、『認知症と自動車運転』をテーマに慶應義塾大学医学部の“三村将教授”にご講演いただきました。本大会では特別講演Ⅰとして、『摂食嚥下リハビリテーションの専門性と連携』をテーマに昭和大学の“向井美恵名誉教授”に、特別講演Ⅱとして『自己(固有)受容感覚処理における運動領野ネットワークと右半球前頭・頭頂ネットワークの役割とその機能発達』をテーマに脳情報通信融合研究センターの“内藤栄一先生”に、それぞれご講演いただきました。参加者数は実人員で448人を数え、大変活気溢れる大会となりました。

個人的には運営局会場運営部の部長として運営に参加させていただきました。私が考えるこの大会は、3年に1度PT・OT・STの職種の垣根を越え、お互いの領域を知り、共に切磋琢磨して前進していくための大会であると考えます。一般参加として参加することでそういった部分を感じられたかと思いますが、運営委員として準備の段階から各県士会の委員の方々と議論を重ね、大会の成功に向けて徐々に士気が高まっていくと言った運営の醍醐味を感じる事も貴重な経験となりました。

次回の運営はPTが舵を切る番となります。その際ご協力のほど宜しくお願い致します。



第2回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会演題発表

巨摩共立病院 理学療法士 中澤 宏之

今回、第2回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会にて演者として発表させて頂きとても良い経験になりました。発表ではとても緊張しましたが質疑応答にて数多くの先生方から質問・意見を頂き考える視点の広さを感じました。このようにPT・OT・STの三職種が一度に集まって行われる学会で発表出来たことで普段とは違う視点での意見や考え方を学ぶきっかけになったと感じました。私はPTですが他職種の演題を聴かせて頂く中でそれぞれの職種ごとの専門性はもちろん発揮しますが、その他に他職種との連携の強化も必要になってくると感じました。私自身も今回他職種との連携面について発表させて頂きましたが、今回の発表から連携の取り方の難しさを学ぶと同時に連携が取れることで患者様にとってチーム医療で関わることがより一層強化出来ると感じました。今回の学会発表で得たことを今後の臨床場面に活かしていけるよう頑張っていきたいと思っております。

第7回世界躰道選手権大会 (第13回国際躰道親善大会)

主催：世界躰道連盟 主管：NPO 法人日本躰道協会
 後援：外務省、スポーツ庁、山梨県、(公財) 山梨県体育協会、YBS 山梨放送
 日時：2017年7月29日(土)～7月30日(日)
 場所：山梨県小瀬スポーツ公園



『躰道世界大会に参加して』

平成29年7月29日・30日、山梨で開催された『国際躰道親善大会』・『世界躰道選手権大会』でスポーツ PT 部の先生方と一緒に活動させて頂きました。

東京都理学療法士協会の活動としてフェンシング大会のサポートをしています。今回は世界大会という競技レベルが高く語学の壁もある世界のうへ、躰道は観るのも初めてで、かつ脳震盪や顔面打撲への対処など普段経験したことのない対応に終始身震いしていました。しかし、4年に1度の大会にける選手の想いを肌で感じることで大変貴重な経験ができました。



また、山梨の先生方は定期的に勉強会を実施し、チーム帯もしているのでスキルがとても高く、機敏でチームワークのある動きは大変勉強になりました。日頃から選手が最高のパフォーマンスで臨めるよう活動している経験がこのような世界大会でも発揮されるのだと感じ、「私も、もっともっと精進していかなくてはいけない!」と奮起させて頂きました。

最後に、このような機会を与えて頂いたスポーツ PT 部の先生方に感謝申し上げます。

林外科病院 石原美知子
(東京都理学療法士協会)



坂本 稔 選手 世界一!!

〈大会二連覇〉

2017年7月30日、ここ地元山梨で『第7回世界躰道選手権大会』が開催されました。四年に一度、世界12ヵ国から代表選手が集結し世界一を決めるこの大会に、スポーツ PT 部の皆様のお力を借りながら、私も“日本代表”として出場しました。

そもそも【躰道】とは、1965年に沖縄で生まれた日本発祥の武道です。体軸の変化を力に変える躰道が他の武道と大きく異なる点は、バク宙など飛んだり跳ねたりするアクロバティックな動きの中から攻防が展開される所です。また、「創造進化の武道」と謳う躰道は、社会や時代の流れに即して柔軟に変化していくことも特徴といえます。

競技は「法形(型)」と「実戦(組み手)」、躰道独自の団体競技「展開」の三種類に大きく分けられます。



今回は「団体実戦」と「展開」の二種目に出場しましたが、特にこの「展開」は日本の中でも山梨が強く、「ただ優勝するのではなく、この先誰も到達できないような展開を作ろう」という強い想いでメンバーと大会に臨みました。“大会二連覇”や“日本を背負って戦う”という重圧に苦しみましたが、当日は多くの友達や道場生、家族、患者さんまでもが会場で応援をして下さり、いつもと違う大きな力を感じながら優勝でき、『世界一』の座につくことができました。



理学療法士を目指したのも、強くなるために身体のことが知りたいという理由からでしたが20年以上躰道が続け多くの人との出会いや支援をいただいて今の自分に至っていると実感しています。これからも人と人の繋がりから生まれる可能性を信じながら、この道を進んでいきたいと思えます。

山梨北整形外科 坂本 稔



生涯学習局 委託講習会部発

□ 2017年度 委託講習会部 下半期活動報告

委託講習会部 島袋 啓

10月13日(金)～15日(日)の三日間にわたり日本理学療法士協会主催 理学療法士講習会『脳卒中片麻痺者の実践的アプローチ』を山梨リハビリテーション病院で開催させていただきました。講師は山梨リハビリテーション病院の北山哲也先生、伊藤克浩先生、小嶋淳嗣先生、鮎川将之先生、健康科学大学の高村浩司先生、リハビリテーション花の舎病院長の福富利之先生に務めていただき、32名の受講生にご参加いただきました。



今回の講習会では脳卒中片麻痺者の抱える問題点、個別性に合わせた評価・介入を講義、実技を通して学んでいきました。また患者様にご協力いただき、実際の臨床場面での分析と治療を講師の先生に提示していただきました。

実技練習では講師だけではなくアシスタントも関わらせていただき、実技の内容を吟味しながら充実した講習会となりました。本当にありがとうございました。

★ 問い合わせ先：生涯学習局委託講習会部 稲持 裕太
(健康科学大学リハビリテーションクリニック E-mail: inamochi.yuta@gmail.com)

生涯学習局 新人教育研修部発

□ 新人教育プログラム活動報告 I

山梨リハビリテーション病院 吉澤 和哉



8月18日、平成29年度の新人教育プログラムが始まりました。山梨県理学療法士会会長の小林伸一先生のお話から始まり、「小林先生」には「労働法を含んだ理学療法における法律や医療法、理学療法士としての責任、チーム医療、リスク管理について」の講義をして頂きました。患者様のリハビリテーションに関わっていく中で他職種との連携は大切だと実感しました。山梨リハビリテーション病院の「笠井雄太先生」には、「生涯学習や理学療法の専門領域について」のお話をして頂きました。

新人教育プログラムの履修終了後は興味のある専門領域に進み、学習し、知識を深め、技術を高めていきたいです。また、患者様の社会復帰に携わるため、信頼される理学療法士を目指していきたいと思いました。

より良い理学療法士を目指すために山梨県の仲間や他県の療法士の方々と繋がりも大切に日々精進し、臨床現場で頑張っていきたいと思います。

★ 問い合わせ先：生涯学習局新人教育研修部 笠井雄太
(山梨リハビリテーション病院リハビリテーション科内 TEL 0553-26-3030)



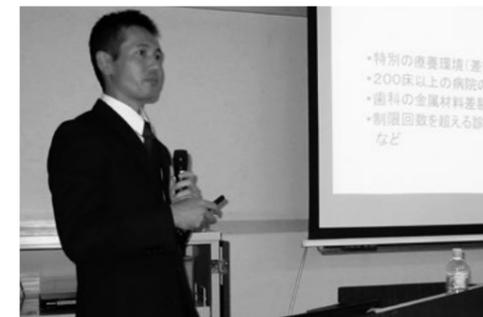
福祉厚生局 医療保険部・介護保険部発

□ 医療・介護報酬に関する基礎的研修会の報告

会員の皆様には、日頃より福祉厚生局の活動に関して、御理解・御協力を賜りまして、誠に有難うございます。去る平成29年10月24日に、『医療・介護報酬に関する基礎的研修会』を、山梨県立青少年センターにて、無事に開催する事ができました。

今年度は福祉厚生局外の講師をお招きし、〈介護報酬〉は医療法人久晴会 甲斐リハビリテーションクリニックの“清水文彦先生”に、〈診療報酬〉は同クリニックの“大竹健太郎先生”に御依頼させて頂きました。参加者は31名で、経験年数が1～3年の先生方を中心に実施する事ができました。御参加頂いた先生方に、『診療報酬』と『介護報酬』の基本的な考え方を御伝える事ができ、興味を持って頂く事ができたのではないかと思います。

また、研修会終了時にアンケートを実施したところ、「大変勉強になった」「3年目でやっと制度の理解ができるようになってきた」との御意見を頂き、医療保険や介護保険の各制度の理解には、それなりの知識と臨床での経験が必要であると感じました。今後も会員の皆様に情報を御伝えできるように鋭意努力して参りたいと考えております。



平成30年には医療・介護同時改定があります。改定の情報も会員の皆様に情報提供ができるように活動して参りたいと思います。

★ 問い合わせ先：福祉厚生局医療保険部 小林泰彦
(E-mail: rehabili@shiranetoku.jp)

福祉厚生局介護保険部 遠藤勇志
(E-mail: endo2000@violin.ocn.ne.jp)

福祉厚生局 地域連携部発

□ 第17回地域理学療法研修会報告

恵信梨北リハビリテーション病院 横内 香織

平成29年11月19日10時より山梨大学医学部キャンパス臨床講義棟大講義室で、『第17回地域理学療法研修会』を開催いたしました。今回の研修では講師に、ヒューマンコンディショニング PNF センター代表“市川繁之先生”をお招きし、「在宅や地域で活かす理学療法のポイント」～基本動作・家族指導・ホームexを中心に～というテーマの元に講義とデモンストレーションという形式で行って頂きました。

当日は理学療法士を中心に90名の方々にご参加を頂きました。講義では基本動作・歩行動作の促通方法や実際に在宅でどのようにして患者様やご家族に対して家族指導や自主練習の指導を行うのがよいのかデモンストレーションや事例を紹介し、わかりやすく講義を行って頂きました。さらに、参加者からの多くの質問に答えて頂き充実した4時間を過ごすことができました。今回の研修を通じて、様々な障害を持ちながら在宅で生活されている方々へ対して常に向上を目指してリハビリを行っていく大切さを実感し、今回学んだ事を臨床へ生かしていきたいと感じました。

★ 問い合わせ先：福祉厚生局地域連携部 望月一史
(身延山病院 TEL 0556-62-1061 E-mail: ms.rihabiri@gmail.com)

□ 山梨学院大学女子サッカー部報告

市立甲府病院 大森英功

山梨学院大学女子サッカー部関東女子大学リーグ2部優勝・1部昇格おめでとう！！

スポーツ PT 部では昨年度から山梨学院大学女子サッカー部のサポートを行っています。私は今年度からその一員として関わり、試合帯同にも行く機会がありました。同サッカー部は創部4年目で“大学日本一”“将来的になでしこリーグ参入を目指す”“世界に通用する選手の排出を目指す”を方針とし、現在は関東大学女子サッカーリーグ2部に所属しています。今回はリーグ9戦全勝で『2部リーグ優勝』と共に『1部昇格』を見事に果たしました。

リーグ戦以外にも多くの試合があり、肉離れ、捻挫等のけがを抱えたままプレーする選手が数多くいます。その中で次の試合に出ることが出来るか？この試合はどの程度までプレーを続けることが出来るか？など監督からメンバー選出に関する意見を求められ、判断に迷うこともありました。来年度は1部リーグで厳しい戦いが続きます。

私も大学日本一に貢献する良いサポートが出来るよう自己研鑽していきたいと思います。皆様も山梨学院大学女子サッカー部の応援よろしくお祈りします！



□ U14・U18 国際Jr テニス大会

JCHO 山梨病院 理学療法室 小林幸一郎



2019年にはラグビーワールドカップ、翌2020年には東京オリンピックの開催が近づき国内スポーツは大いに盛り上がっています。ここ山梨においても11月に北杜市クラブヴェルディで約3週間に渡り『U14・U18国際Jr テニス大会』が開催され世界から選手が訪れ熱戦を繰り広げました。

例年同様にスポーツ理学療法部が選手のケアや試合中の対応を行いました。東京オリンピック介入に向け国際大会での経験は重要になります。他県では経験の場が少ないことが

問題となっているため、今回は関プロの東京・長野・埼玉・栃木から17人の理学療法士を受け入れました。皆、経験は浅いのですがスポーツに興味と情熱を持った熱い方々で、遠路はるばる自費で出向き、戸惑いながらも一生懸命対応する姿をみて、はじめて関わった「かいじきらめき国体」での自身の姿をみているようでした。また一方で、山梨県士会ではスポーツ支援活動に非常に理解があり、国際大会も含め多くの大会に関わるチャンスがあることを再認識いたしました。このチャンスを活かして経験を積み、目指すは“東京2020”、この一大スポーツイベントにかかわれるよう頑張っていきたいと思っています。



★ 問い合わせ先：社会局スポーツPT部 小尾伸二
(山梨大学医学部附属病院リハビリテーション部内 TEL 055-273-9805)





合同学術大会 Photo



お知らせ Information



事務局からのお知らせ

◆ 重要なお知らせ

○ 会費の納入期限の変更について

(公社)日本理学療法士協会と各都道府県士会では、2018年度(平成30年度)分の会費から、事業年度が開始となる4月よりも前に会費を納入していただくことになりました。平成30年度(来年度)分の会費の納入期限は2018年(平成30年)3月31日です。

楽天カード、口座振替の会員については、2018年3月27日引落
引落登録のない会員については、2018年3月上旬から、振込用紙が順次発送されています。早急な振込をお願いいたします。

3月末までに納入のない場合は、4月から会員権利の全面停止、
6月末までに納入のない会員につきましては、会員資格喪失により未納退会、となります。

*退会となった場合、これまで獲得した生涯学習ポイント等はすべて失効となります。
*未納退会後の「復会」は認められず、「新入会」扱いとなるため、生涯学習ポイントについても、新人教育プログラムからの再履修となります。

○ 4月から休会、3月末で退会を希望される場合

3末日までに申請を行ってください。特に、4月2日以降の申請では、会費は免除されません。

*現在休会中で継続して休会を希望する場合も同様です。

3末日までに「休会継続申請」が必要です。なお、2017年度(平成29年度)の会費が未納である場合は、申請が受け付けられません。会費納入後の申請をお願いします。

○ 会員情報の変更手続きについて

異動、休会、退会、会費納入方法変更等については、協会 HP のマイページから手続きを行ってください。マイページにアクセスするには、協会が各個人に発行した ID とパスワードが必要です。「ID やパスワードがわからない」、「そもそもインターネット環境が無い」という会員の方は、お手数ですが(公社)日本理学療法士協会(TEL:03-5414-7911)まで問い合わせをお願いします。

*会員情報につきましては、(公社)日本理学療法士協会の会員管理システムにて一括管理されているため、士会単位では対応できません。

◆ 平成30年度 一般社団法人 山梨県理学療法士会 定期総会のお知らせ

日 時:平成30年5月15日(火)(19:00開始予定)

*会場等は現在検討中です。詳細が決まりましたらお知らせいたします。

◆ 会員の慶事及び弔事があった場合

当士会では、会員の慶事及び弔事があった場合、慶弔規定に則り対応させていただきます。

会員の慶事及び弔事があった場合は、当士会 HP の「お問い合わせフォーム」からご連絡頂きますようお願いいたします。

◆ 事務局への問い合わせについて

山梨県士会 HP の「事務局への問い合わせ」メールフォームからお願いいたします。

インターネット環境がない会員の方は、

山梨県立あけぼの医療福祉センター【療法科内】(担当)有泉

TEL:0551-22-6112(療法科直通) FAX:0551-22-6184 までお願いします。

◆ 山梨県士会 HP について

一部の内容が古いままなど、ご迷惑をおかけしていますが、新年度に向けて随時更新作業を進めています。トップページの「お知らせ」や「研修会情報」については、常に最新の情報を載せていますので、ぜひアクセスしてみてください。



途絶えることのないバトンを君に /

リレーエッセイ

『リレーエッセイ』とは…

士会員を対象に、身近な出来事・お国自慢・今はまっていること・病院紹介など、何でもよい（ただし、誹謗や中傷の内容は除外します）ので400字程度で執筆していただき掲載していく企画です。

以前の Supporters にあった「会員のひろば」との違いは、会員同士の輪を広げるということで、執筆された方が次の執筆者を決めて、紹介していただくという点です。無理やり書いていただくわけではなく、執筆者同士の繋がりを大切にしていきたいと考えていますので、依頼を受けた方は快く執筆していただけたらと思います。

リレーエッセイ

Part 33-1

甲斐リハビリテーションクリニック 大竹 健太郎

白根徳洲会病院の市川普隆先生よりバトンを受け取りました甲斐リハビリテーションクリニックの大竹健太郎です。山梨は果樹王国といわれていますが、その中でも私の地元で栽培している“ブドウ”について書こうと思います。



昨今ブドウというとシャインマスカットが超有名になっています。ブドウ農家に聞くと、「どの客も『シャイン!』『シャイン!』そればかり!ほかのブドウも食べてくれ!」と言うほど…。

しかし、ブドウ好きの方の多くはなぜか「甲州」という品種が一番おいしいことが多い。この「甲州」見た目は地味ですが、実は日本最古の品種で日本のブドウの基礎になっていると言われています。

800年以上昔から栽培され、今も残っている甲州。シャインもおいしいですが、一度ブドウの原点を味わってみてください。

今回は、『石和温泉病院の清水真治先生』にバトンを渡します。

原稿を募集しています!

会報部では会員の声を少しでも多く取り入れたいと考えております。テーマ等は自由です。

1. 研修会・勉強会等の開催案内・報告内容など
2. 各種お知らせ事項など
3. 体験記など
4. その他



注意

内容の規定はありませんが、個人・団体等の中傷あるいはこれに準ずるものは不可。

※ 第152号発行は、2018年00月を予定しています。

原稿の締め切りは

00月中旬です。

● 問い合わせ先：広報局 会報部 古澤淳一
塩山市民病院 TEL: 0553-32-5111 FAX: 0553-32-5115
E-mail: yamanashikaihoubu@yahoo.co.jp

リレーエッセイ

Part 33-2

介護老人保健施設フルリールむかわ 大西健太

今回、甲州リハビリテーション病院の山内健太先生からバトンを受けました。高知県からリハビリテーション、理学療法を学ぶために山梨県に就職しました。

山梨県には多くの『高知リハ』出身の先輩方が在籍されており、就職後も一切不安なく過ごすことが出来ました…(笑)

月一回の無尽、『クジラ会』も大変賑やかで、楽しく参加させて頂いております。現在、私は北杜市の老健に勤務しています。入所、通所、訪問等、介護



分野の難しさを日々感じながらも自分のキャリアデザインを構築できるよう様々な活動を行っています。当事業所で『Kai Clinical Lab』という研究会があり、様々なセミナーを開催していますので是非HP、ブログ等覗いてみてください。

医療・介護同時改定や療法士の飽和等、理学療法士にとって明るいニュースは少ないと言われてはいますが、地道に知識・技術の向上と時代の流れに適應できる力をつけ、『やりたい・なりたい』を形に出来るように山梨県で頑張ります!

今回は、いつもお世話になっている『帝京科学大学の平賀篤先生』よりよろしくお願い致します。

編集後記



今年、富士山は10月23日に「初冠雪」26日には「初雪化粧」を観測。また例年は5月頃に現れ、富士北麓地域に春の訪れを告げる風物詩「農鳥」が11月の富士に出現する珍しい現象がみられました。会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか?

本号の特集は『第2回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会』と坂本選手が大会2連覇を果たしました『第7回世界躰道選手権大会』となっております。

今回も大変お忙しい中、会員の皆様のご協力の下、会報誌を発行できましたこと感謝申し上げます。平成30年度会報誌発行の際もご協力頂ければ幸いです。

会員の皆様におかれましては体調にお気をつけてお過ごし下さい。

古澤 淳一

- 【発行】 一般社団法人 山梨県理学療法士会
- 【代表】 小林 伸一
- 【企画・校正】 古澤 淳一 菊池 悟 澤田 和文 中島 孝 長田 徹也
- 【編集・印刷】 株式会社 たけまる
- 【会報部】 〒404-0037 山梨県甲州市塩山西広門田433-1
公益財団法人 山梨厚生会 塩山市民病院
TEL: 0553-32-5111 FAX: 0553-32-5115
E-mail: yamanashikaihoubu@yahoo.co.jp

